

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

救急センター
師長わくがわ あつや
湧川 敦也

新任部署長のご挨拶

1月9日付で7階病棟より救急センターへ異動してきました。7階病棟では、コロナ病棟発足から携わり、院内看護師、県外応援看護師、法人内多職種から多くの支援を頂き感謝の日々でした。

救急センターでは、初療を終えた患者さんの入院ベッドがひっ迫し準備できない状況も時にはあり、関連医療機関との転院調整も多くあります。かなりのスピードで展開しており、ついていくのが精一杯で関連部署の皆さんにはご迷惑おかけしております。内視鏡室の師長も兼任しております。頑張って早く覚えていきますので、よろしくお願いします。

このたび1月9日付で7階病棟の師長となりました山城優理子と申します。1階外来師長を約4年間勤め今回異動となりました。

7階病棟は総合内科病棟となっており、様々な疾患で入院する患者さんが多く、幅広い知識を持つて看護を行うことが必要となってきます。病棟のスタッフと勉強をしながら、患者さん・ご家族さんに「7階病棟に入院して良かった」と思えるような病棟作りをスタッフ一丸となって行っていきたいと思います。これからもよろしくお願ひ致します。

7階病棟
師長やましろ ゆりこ
山城 優理子

異動のご挨拶

とよみ生協病院
外来師長
(前救急センター
師長)ながみね
長嶺 さかえ

2020年8月1日より救急センターにて勤務していましたが、2024年1月9日付でとよみ生協病院へ異動となりました。在籍中の3年4ヶ月はスタッフ一丸となり、新型コロナウイルス感染症へ取り組んできました。そこで得た経験を今後活かしていきたいと思っております。

とよみ生協病院は、待合室が小さく、駐車場の整備がまだできない等、ハード面で不自由、不便を感じると思います。環境が整備されるまで時間を要しご迷惑をおかけすると思いますが、可能な看護・医療を精一杯、組合員さん、地域住民の皆さんへ提供できればと思っております。どうぞよろしくお願いします。

今月の1枚 新とよみ生協病院



左側：とよみ生協病院 右側：旧とよみ生協病院

病院の活動状況
<2023年12月度>

- ・外来一日平均患者数：306人（前年同月比 -29人）
- ・組合員利用分量(率)：53.8%（前年同月比 -6.7%）

- ・入院一日平均患者数：260人（前年同月比 +21人）

総合内科そして高齢者診療

ひばまれ
204 総合内科より

私は内科の中でも、総合内科に所属しています。総合内科とは、一口に言って、循環器、呼吸器、消化器、感染症、腫瘍内科などの専門性の高い科と異なり、幅広く何でも診る科です。また、診断が難しい内科疾患の診断をつけようとする科です。

総合内科に求められる能力として、左記のように言られています。

- ①内科的診断能力
- ②高齢者を診療する能力
- ③研修医を教育する能力
- ④患者の安全を担保する能力
- ⑤科学的根拠を「正しく」利用する能力

世の中は高齢化社会で、65歳以上の高齢者は2023年には日本の全人口の29.1%に達しています。でも、小児科はあるのに高齢者科はありませんね。不思議だと思いませんか？

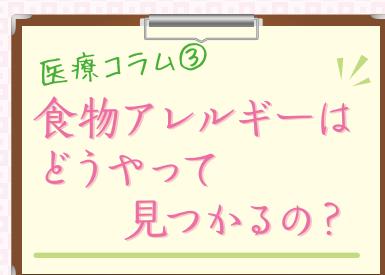
若い人と違つて、高齢者は、典型的な症状が出にくかったり、症状を訴えられなかつたり、いくつも病気を持っていたりと、特別な診療の視点が必要です。また、病気が治つてもすぐ自宅に戻れませんね。不思議だと思いませんか？

高齢者を診療する能力について少し私見を述べさせていただきます。

2023年には日本の全人口の29.1%に達していることが多いです。高齢者だから適当に診ていいくことが多いです。高齢者だから適当に診ていいくことはありませんし、病気を治すだけではなく、よりよい生き方（亡くなり方）を考える、治つた、治らなかつたの結果以外に、ご本人、ご家族の価値観に寄り添える診療ができたかが問われることが多いです。もちろん病気を治すことが第一の目標ですが、診療の過程を通して、患者さん、ご家族の人生をサポートする醍醐味を味わうことができる、と言ってもいいかもしれません。

患者さん、ご家族の価値観置かれた環境はさまざまですから、正答のない高齢者診療に日々頭を悩ませながら、チーム、スタッフともども奮闘している毎日です。

総合診療部 部長(副院長)
嵩原 安彦



(全4回)

小児科
酒井 一徳

レルゲン(アレルギーを引き起こす原因物質)特異的IgE抗体を指します。

この抗体という物質は、アレルゲン毎に反応する抗体が異なる為、鶏卵には鶏卵と反応するIgE抗体があり、落花生には落花生と反応するIgE抗体が別々に存在しています。

その為、鶏卵と反応するIgE抗体が体内にある状態で、一定の量のアレルゲン(鶏卵)を摂取すると、軽い場合は口の周りに発赤・じん麻疹が出たり、中等症の場合は呼吸器症状としての咳・喘鳴や、消化器症状としての腹痛・嘔吐などが、急速かつ全身に(複数の症状が同時に)出現する場合はアナフィラキシーという強いアレルギー症状を認めることがあります。

このような症状は、初めて食べる食材で出現することが主ですが、過去に何度か食べたことがある食材でも出現することもあります。

実際にアレルギー症状を認めた場合は、まず病院で症状を落ち着かせることが第一です。

次に、その原因に関して詳細な病歴聴取の上で、アレルゲン特異的IgE抗体を調べ、しっかりと診断してもらう事をお勧めします。

※「しんぶん赤旗」より転載

前回は食物アレルギーになりやすい子について、湿疹の存在が食物アレルギーを促進させる「二重抗原曝露仮説」について述べました。

今回は食物アレルギーを持つお子さんが、いつ・どのような場面で発症するかについて解説したいと思います。

食物アレルギーを発症する際、その前提として体の中でアレルギー免疫物質が存在しているということが必須になります。

それは、アレルギーの採血で数値として表す事ができる、ア

真和志3支部合同 新春のつどい

2024年1月21日(日)真和志3支部合同の新春のつどいが4年ぶりに開催されました。

開催に向けては、協同にじクリニックと真和志3支部の支部長を中心に運営会議を行い、準備を進めてきました。当日は、組合員さんと職員合わせて160名以上の参加があり、余興も7つ行われ、おおいに盛り上りました。あちこちで「お久しぶり~元気~」の声が聞かれ、皆さんが楽しみにされていたことを実感できる、実りある新春のつどいとなりました。

事務管理部 次長 入月 美保子



協同にじクリニック: 上原和博所長の挨拶



全体写真

ご意見



虹の箱より

受付会計待合室に時計がなくとても困った(自分の時計は故障していた)。カウンター後ろ側の見やすいところにでも設置して欲しい。

回答

虹の箱へのご意見ありがとうございます。

外来の待合などには設置していましたが、指摘を受けた受付・会計周辺に設置されておらず、ご不便をおかけ申し訳ありませんでした。今回、総合受付内の中央に壁掛け時計を設置しました。

この度は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

医療事務課 外来主任 新里 裕介



部署紹介

㉙医療情報分析室

はじめまして。こちらは医療情報分析室です。

病院の業務を効率的かつ安全に行うためにコンピューターの利用は不可欠です。沖縄協同病院では院内に約600台のパソコンを設置して電子カルテと呼ばれるシステムを利用しています。私たちの仕事はこのような医療情報システムを導入したり故障やトラブルで止まらないように管理することで、コンピューターシステムを通して医療を支えています。

普段、身近に感じにくいかもしれません、私たちのような仕事をあることを知っていただければ嬉しく思います。

医療情報分析室 室長 大田 敬太



委員会活動報告㉑アレルギー診療委員会



皆様、こんにちは。当院ではアレルギー外来や食物経口負荷試験を医師6名体制で行っていて、看護師や管理栄養士、薬剤師など様々な職種の方々が協力してくれています。アレルギー診療に関わるスタッフが一堂に集まり、診療の打ち合わせや最新のアレルギー知識共有、学会の準備・相談などを行う場

がこの「アレルギー診療委員会」になります。皆様により良い医療を提供できるよう今後も頑張ってまいります。よろしくお願いします。

小児科部長 尾辻 健太



ハルサー
金城 稲子

今年は正月早々能登半島地震、翌日には日航機の炎上と不幸な災害・事故が続いた。世界でも、欧洲では大嵐が大洪水を引き起こし、米中西部では命に危険を及ぼす寒波(-30°C)と大洪水、西海岸の加州では高波が押し寄せハウス内外で赤と白のクレオメの花が楽しめそうだ。

今年は地球沸騰化による戦地に供給して地球を栽培は天敵利用で自然との共存に光が見え人間は武器をどんどん痛みつけている。トマト栽培は天敵利用で自然との共存が必要なこと

といふ気付くのだろうか。

ハルサー
だより

クレオメ

トマト栽培で怖い病気は青枯れ病等の土壌病。発生すれば短期間のうちに全滅するので太陽熱消毒は欠かせない。それと同じ位怖い病気は黄化葉巻病である。コナジラミという虫が媒介する伝染病だ。耐病性のある品種でも成長が阻害され収量が激減する。初期であれば伝染防治のため病気株は引き抜く。去年は泣く泣く200本処分した。